

公共安全LTE (Public Safety-LTE)

総務省では、防災関係機関が共同で利用し、災害発生時等において相互の円滑な通信や情報共有の確保が可能となる「公共安全LTE」の実現に向けて取り組んでおり、今回、防災関係機関とともに災害発生時を想定した訓練を含めた業務での公共安全LTEの有効性検証を行う予定です。

- 公共安全LTE (Public Safety-LTE) は、携帯電話で利用されている通信技術 (LTE: Long Term Evolution) を用いて音声のほか画像・映像伝送等の高速データ通信が可能であり、将来的に公共安全機関が共同で利用することで関係機関間の円滑な情報交換の実現が期待されています。
- 今回、沖縄県総合防災訓練では、現在、実証中のPS-LTEの映像伝送機能を用いて、① 映像をリアルタイムに伝送すること、② 管理用端末 (パソコン端末) を用いて複数ユーザーが撮影した映像を一元的にリアルタイムに閲覧できること、③ 伝送または取得映像を外部モニター等に出力できることの機能実証を行います。

[端末イメージ・特徴]



- ・一般のスマートフォンを利用可能
- ・専用SIMでの携帯網と接続し、安定的な接続を確保
- ・ネットワーク設備を東西冗長で設置することで、耐災害性を強化
- ・IP電話、メール、Webブラウザの他、アプリを搭載することで、映像・画像の送受信も可能

[複数ユーザーが撮影した映像の共有]

